８練総人第 237 号
令和８年 11 月２日

公益社団法人　練馬区スポーツ協会
　会長　高橋　利充　様

総務部人権・男女共同参画課長
末永 悠利子
（公印省略）

令和８年度人権週間行事「講演と映画の集い」の開催について

区では、12 月４日から 10 日までの人権週間にちなんで、区民の方々にさまざまな人権問題についての認識をより深めてもらうために、毎年人権週間行事を開催しています。

本年は、12 月６日（日）に練馬文化センターにおきまして、元阪神タイガース横田慎太郎さんの生涯を描いた映画「栄光のバックホーム」の上映と、慎太郎さんのご両親による講演を行います。

慎太郎さんの野球への向き合い方や、病気を克服すべく諦めない心で闘う姿に触れ、命の大切さや家族・仲間との絆、互いを思いやることの大切さを改めて感じていただくよい機会になるものと考えております。つきましては、スポーツ協会加盟団体の皆様への周知に関しまして、格段のお取り計らいを賜りますようお願い申し上げます。

【行事概要】

（１）日時
　令和８年 12 月６日(日)　午後１時～午後５時

（２）場所
　練馬文化センター　小ホール
　所在地：練馬区練馬１-17-37

（３）内容
　①小中学生による人権作文朗読
　②映画「栄光のバックホーム」上映
　③横田真之（まさし）さん、まなみさんによる講演

（４）申込
　11 月 11 日(水)より先着順
　電子申請または電話（03-5984-1452）

電子申請はこちら

(担当)練馬区 総務部 人権・男女共同参画課
人権啓発担当係　藤井・向田
℡ ５９８４－１４５２（直通）

参加無料
（事前申込制）

令和8年度人権週間行事

講演と映画の集い

12.6（日）

13：00～17：00（12：00開場）

練馬文化センター　小ホール

定　員　500名（申込順）

お申込みはこちらから



写真提供：スポーツ報知／共同通信イメージズ

講演　諦めない心 ～家族で闘い続けた日々～



講師
横田 真之（まさし）さん　まなみ さん
（元阪神タイガース 横田慎太郎さんのご両親）

【手話通訳・要約筆記あり】

映画　栄光のバックホーム



出演：松谷鷹也、鈴木京香、高橋克典ほか

配給：ギャガ
©2025「栄光のバックホーム」製作委員会

【日本語字幕・音声ガイド付】

◎ 申込期間　11月11日（水）～ 定員に達し次第終了

◎ 申込方法
- 電子申請
- 電話　03-5984-1452（平日8：30～17：15）

問合せ　練馬区総務部人権・男女共同参画課　TEL　03-5984-1452（直通）　FAX　03-3948-2013
主　催　練馬区／練馬区教育委員会　　協　賛　東京人権擁護委員協議会（練馬地区委員会）／公益財団法人　東京都人権啓発センター

このマークは音声コードUni-Voice（2次元コード）です。専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。

●12月4日～10日は人権週間です●

人権は誰もが生まれながらに持っている、人間らしく幸せに生きていくための権利です。しかし、いじめや虐待、ハラスメント、配偶者からの暴力など私たちの身近に人権侵害が存在しています。一人ひとりが自分らしく生き、他の人たちとともに皆が幸せに生きていくためには、お互いを尊重し、認め合い、支え合うことが大切です。

進行予定

13:00　開演
　　主催者あいさつ
　　小・中学生の人権作文朗読
13:25　映画上映(135分)
15:40　休憩(15分)
15:55　講演・質疑応答(60分)
17:00　終演

【横田慎太郎さん　プロフィール】

投　打	左投左打
身長／体重	187cm ／ 94kg
生年月日	1995 年 6 月 9 日
経　歴	鹿児島実業高校
ドラフト	2013 年ドラフト 2 位

出典：一般社団法人日本野球機構(NPB)公式サイト

講師

横田 真之(まさし)さん まなみさん（故 横田慎太郎さんのご両親）

鹿児島県日置市在住。父真之さんは高知県出身の元プロ野球選手。外野手としてロッテオリオンズ（千葉ロッテマリーンズ）や中日ドラゴンズで活躍し、西武ライオンズで現役を引退した。現役引退後は、2019年12月から2023年3月まで鹿児島商業高校硬式野球部監督を務めた。母まなみさんは鹿児島県出身。現在は慎太郎さんの意志を引き継いで、夫婦で講演活動を行っている。

映画

栄光のバックホーム（2025 年／日本／上映時間 135 分）

2013年のドラフト会議で阪神タイガースに2位指名された横田慎太郎、18歳。甲子園出場を逃すもその野球センスがスカウトの目に留まり、大抜擢された期待の新人だ。持ち前の負けん気と、誰からも愛される人間性で厳しいプロの世界でも立派に成長を遂げていく慎太郎。2016年の開幕戦では一軍のスタメン選手に選ばれ、見事に初ヒット。順風満帆な野球人生が待っていると思われたその矢先、慎太郎の体に異変が起こる。ボールが二重に見えるのだ。医師による診断結果は、21歳の若者には残酷すぎる結果だった。脳腫瘍―。その日から、慎太郎の過酷な病との闘いの日々が始まる。ただ、孤独ではなかった。母のまなみさんら家族、恩師やチームメイトら、慎太郎を愛してやまない人たちの懸命な支えが彼の心を奮い立たせるのだった。そして、2019年9月26日、引退試合で慎太郎が魅せた“奇跡のバックホーム”は人々を驚かせ、感動を呼んだ。だが、本当の奇跡のドラマは、その後にも続いていたのだった…。

申込

以下の事項をお知らせください

- ○**氏名・電話番号・メールアドレス**（電子申請のみ）
- ○**保育の有無**（生後6か月以上の未就学児対象、定員6名）
- ○**車いす席**（定員4名）、**映画の音声ガイド**（※）、**手話通訳、要約筆記の要否**

※　視覚障がい者の方などのために映画のシーンを音声で説明するサービス



©2025「栄光のバックホーム」製作委員会

会場

練馬文化センター 小ホール

〒176-0001 練馬区練馬 1-17-37
西武池袋線・西武有楽町線「練馬駅」中央北口　徒歩1分
都営大江戸線「練馬駅」北口　徒歩1分

※　車でご来場される方は、練馬駅北口地下駐車場（有料）をご利用ください。

